

歌ごよみ お夏清十郎 (1954)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 94分
初公開日 1954/11/01
公開情報 新東宝

【解説】

「花吹雪御存じ七人男」の旗一平による原作をもとに「日本戦歿学生の手記 きけ、わだつみの声」の舟橋和郎が脚本を執筆し「恋風街道」の冬島泰三がメガホンをとった。歌舞伎や浄瑠璃の題材として数多くの作品が作られている「お夏清十郎」の映画化で、美空ひばりの歌声を堪能できる青春恋愛時代劇。

米問屋但馬屋の娘お夏は、美男で働き者の清十郎に密かに思いを寄せていた。しかし彼女は、表面上は主従の一線を越えないようにしていた。商売敵の近江屋は手代の勘十郎をそそのかし、但馬屋に届いた米の買付金を盗み出すことに成功。濡れ衣を着せられた清十郎は島流しとなるが、但馬屋が倒産したことを知り、お夏を救うため流刑場を脱出するのだった。

【クレジット】

監督 冬島泰三
原作 旗一平
脚本 舟橋和郎
撮影 太田真一
出演 美空ひばり
市川雷蔵
川田晴久
堺駿二
三条美樹
柳永二郎